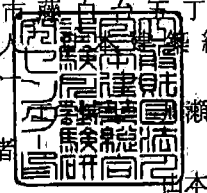





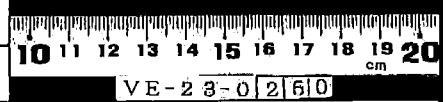
試験番号	VE-23-0250追1
受付日	2023年 8月31日
報告日	2024年 4月 3日

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)報告書

大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号  
 一般財団法人日本建築総合試験所  
 試験研究センター  
 センター長  
 報告書発行責任者  
 材料試験室長

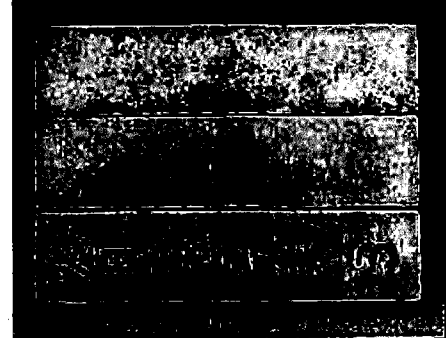
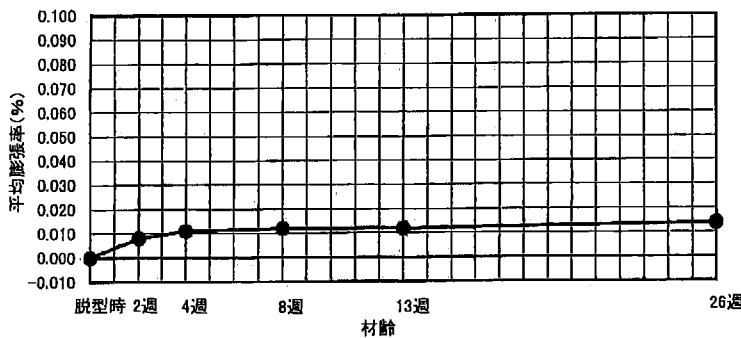
依頼者	会社名	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	所在地	京都府宮津市宇須津413
試験実施期間		2023年9月27日 ~ 2024年3月27日
試料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド) ✓
	産地*	京都府宮津市宇須津413 ✓
	採取場所*	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	採取日*	2023年8月29日
	採取者*	宮津海陸運輸株式会社 坂根 隼
	工事名*	_____
備考		2023年8月31日に当センターへ搬入された。



セメントの全アルカリ	酸化カリウム(K <sub>2</sub> O): 0.38%、酸化ナトリウム(Na <sub>2</sub> O): 0.27%、全アルカリ(Na <sub>2</sub> Oeq): 0.52%
試験方法	「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部コンクリート実験室にて行った。

試験結果	供試体番号	膨張率 (%)					判定
		2週	4週	8週	13週	26週	
	1	0.008	0.011	0.013	0.013	0.015	無 害 ✓
	2	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	
	3	0.008	0.012	0.013	0.013	0.014	
	平均膨張率	0.008	0.011	0.012	0.012	0.014	

平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。



担 当 材料部 材料試験室 試験責任者 澁井 雄斗 、 試験担当者 丹羽 大地

\*: 試験依頼者の情報による。

